introduction

宗内寺院紹介 100

群馬教区北前橋部
石井山 三光院 珊瑚寺



当山は、大同元（八〇六）年に日光山を開いた勝道上人が草創したと伝わっています。古名は三鈷寺。鎌倉時代初期、梶原景時一族の尼僧により再興され尼寺となりました。室町時代中期になると、八崎城主の長尾景仲がこの地を訪れ、月江上人を住持とし、約三十年間三世にわたって禅宗の寺院となりました。その後再び無住となりましたが、戦国時代の初期、義貫が再興し天台宗に改め、三光院珊瑚寺とし現在に至ります。境内の最古の建造物である地蔵堂は、宝暦四（一七五四）年に前橋藩主松平大和守の寄進により建造されました。現在も「石井珊瑚寺子育地蔵」と富士見かるたにも詠まれるほど地域の人々に親しまれ、初詣や七五三祈祷等で参詣者が年間を通して絶えません。また、「東国花の寺百ヶ寺群馬十三番霊場」で、桜や山躑躅、曼珠沙華等、四季折々の花が咲く「花寺」としても知られています。


①


②


③


④


⑤


⑥

①桜の珊瑚寺遠景
②地蔵堂
③本尊阿弥陀如来
④子育地蔵尊
⑤心字池の夜桜
⑥心字池の曼珠沙華

群馬教区北前橋部
石井山 三光院 珊瑚寺
住　　所／〒371-0105 群馬県前橋市富士見町石井1227
電話番号／ 027-288-3503
Facebook/https://www.facebook.com/isiisanngoji/
Instagram/https://www.instagram.com/isii_sangoji/